

1 はじめに

本校は、昨年度から義務教育学校となり、1～9年生が同じ校舎内で学校生活を送っている。そのため、前期課程と後期課程の交流が増え、これまでとは違った集団活動の中で特別活動を行うようになった。

今年度は義務教育学校である強みを生かし、異学年交流を通して望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の実践に努めた。

2 資料

(1) 川遊び

昨年度は生徒総会で児童生徒たちの要望・意見がきっかけとなり、清掃無しの昼ロングの休み時間を増やすことができた。本年度は、中里の自然を生かし川遊びをしたいとの提案があった。実現に向けルールをクラスや中央委委員会で決めることができ、水生生物を見付けるなどの時間ができた。



川遊び

(2) なかよしタイム（異学年交流）

生徒総会で「全学年で楽しめる場をつくってほしい」という提案から実現した。中央委員会で実現するための話し合いを繰り返し、チーム名、内容を9年生が中心となって進めることができた。現在、月1回全校生徒が楽しみにしている「遊び」を行っている。



なかよしタイム

(3) さわやかマナーアップキャンペーン

本校には日上市内のいろいろな場所から児童生徒が通学してくる。全学年が日立駅、市役所前、校舎前の3箇所に分かれて、あいさつ運動を行った。事前にスローガンの設定とポスター作成、グループごとに分かれてあいさつの練習をした。当日は、大きな声で元気よく活動できた。



マナーアップ
キャンペーン

3 成果と課題（○成果、●課題）

○川遊びとなかよしタイムは、どちらも生徒総会から提案され、実現したものである。中央委員会やクラスでの話し合いを行い、ルールをみんなで考えることができた。

○さわやかマナーアップキャンペーンでは、従来の日立駅に加え、日上市役所前でのあいさつ運動を行った。通行量の多い環境で活動を行ったことで、公共の場にふさわしい行動を意識しながら、活動に取り組むことができた。

●義務教育学校になって2年目、さまざまな試みを行った。今後も児童生徒主体の行事を実施したい。そこで、生徒自らが生徒会行事を見直し、改善を図ることができるように議論の場を深めたい。